

平成29年度 水道事業会計決算

水道は身近で大切な財産です

水道は市民生活に直結するライフラインであり、都市の発展を支えるインフラとしても重要な役割を担っています。

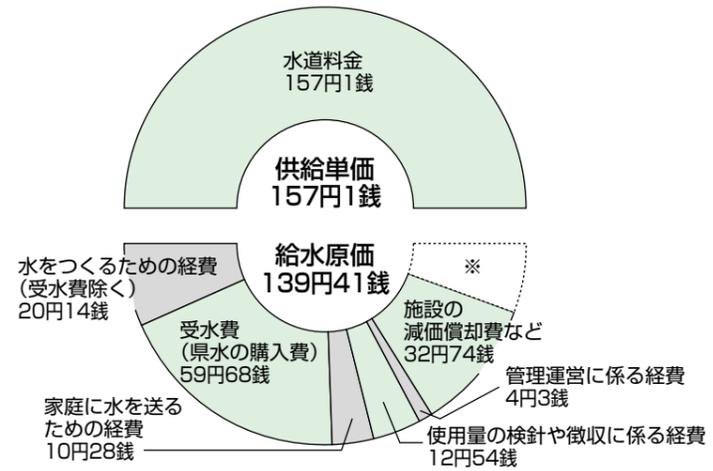
厳しい経営環境下にあります。今後の水道事業においても、給水サービスの向上を図り、安全で安定した水道水をお届けできるよう努めます。

給水状況

平成28年度と比べ、水道の接続件数は210件増え、年間の給水量も4万2千m³増えましたが、水を使った人数は405人減りました。

供給単価と給水原価

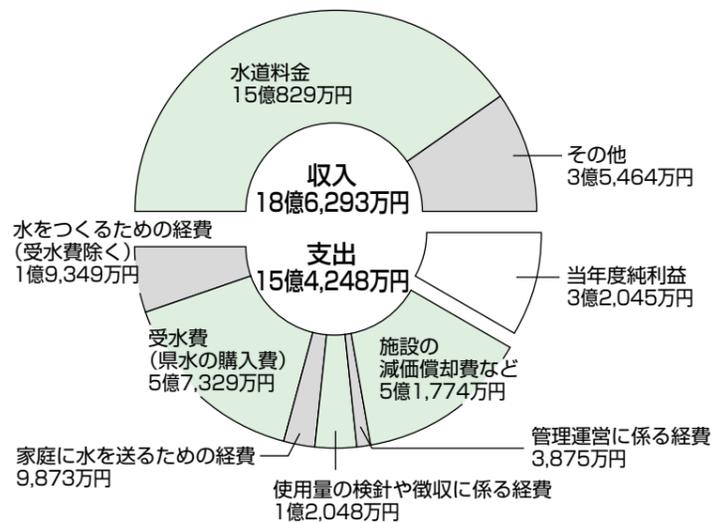
(1m³当たり、消費税など抜き表示)



※供給単価が給水原価を上回り、料金収入で給水に必要な費用が賄われました。

経営活動に伴う収入と支出

(損益収支のため消費税など抜き表示)



収入では、工場や病院などの大口需要家への給水量の増加で水道料金が1,372万円増えたことなどにより、総額18億6,293万円となりました。

支出では、職員数の削減などにより職員給与費が1億515万円減少するなど、総額15億4,248万円となりました。

その結果、収支は3億2,045万円の黒字となりました。

財政状況(収益的収支)

給水の状況

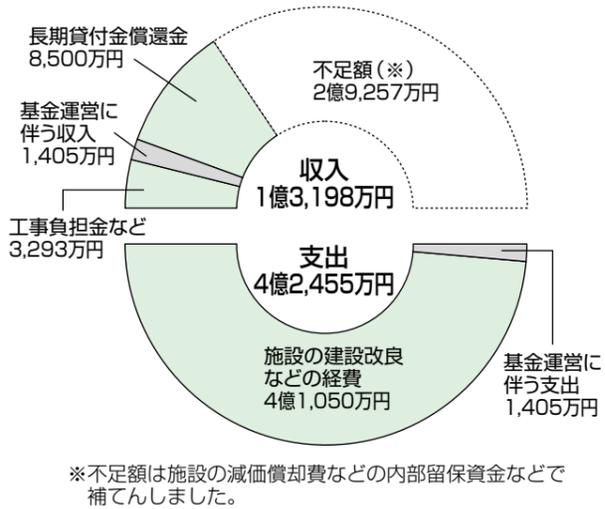
項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年度末給水人口 (人)	79,900	79,316	78,856	78,370	77,965
年度末給水件数 (件)	32,737	32,938	33,143	33,530	33,740
年間配水量 (千m ³)	10,562	10,272	10,400	10,490	10,631
年間給水量 (千m ³)	9,709	9,380	9,496	9,564	9,606
有収率 (%)	91.9	91.3	91.3	91.2	90.4

基金、企業債などの状況

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
基金残高	1,725	1,746	1,760	1,775	1,789
一般会計貸付分	300	285	270	255	240
下水道事業会計貸付分	259	222	185	148	111
一般会計長期貸付金残高	1,700	1,615	1,530	1,445	1,360
企業債残高	16	8	4	0	0

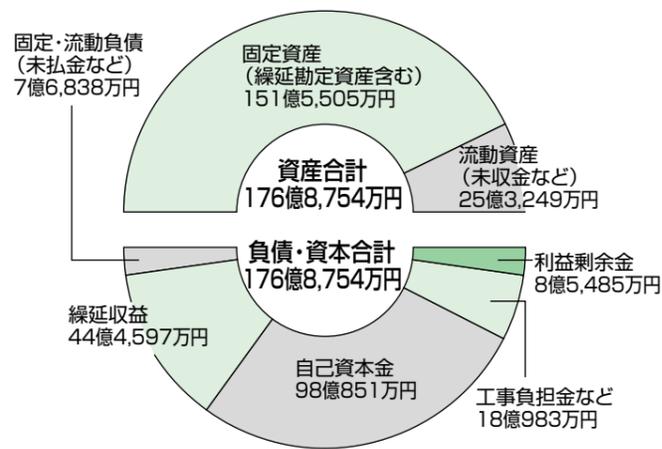
施設整備に要する収入と支出

(資本収支のため消費税など込み表示)



※不足額は施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

貸借対照表



水道管の冬支度

冬の気象情報に要注意

平成29年1月の寒波により水道管の凍結・破損が多発しました。破損を未然に防ぐためにも、厳しい冷え込み(気温がマイナス4℃以下)の予報が出たときには注意してください。特に、建物の北側や風当たりの強いところ、露出している水道管には注意が必要です。

また、普段住んでいない住宅の水道は、凍結・破損防止のためにも、止水栓を閉めておき、必要に応じて止水栓を開けて水道を使用しましょう。



凍結の予防策

- ・屋外に露出した水道管は市販の保温材料で包むか、不要になったタオルや布で覆い、その上からビニールテープを巻く。
- ・低温注意報が発令された時は、蛇口から少量の水を流す(屋外型給湯器は、各メーカーで凍結の予防策が異なりますので、事前に取扱説明書を確認してください)。

凍ってしまったら

- ・自然に解けるのを待つ。
- ・凍った部分にタオルをかぶせて、その上からぬるま湯をゆっくりかける(熱湯は破損の原因になるので使用しないでください)。

破損してしまったら

- ・メーターボックスの中にある止水栓を閉める。
- ・修理は指定給水装置工事業者へ。

漏水の軽減措置について

本年度から、水道管が埋設されていて漏水を発見することが困難である場合に加えて、凍結により漏水があった場合も料金の減額の対象になりました。

漏水の軽減措置は原則として、5年間で1回に限りです。

水道管の維持管理を怠っていた場合や指定給水装置工事業者以外が修理した場合は、軽減措置の対象となりませんので注意してください。

災害時の給水訓練を体験

みなぎ台小学校4年生の児童が、災害時の給水訓練として、給水車や応急給水拠点で給水袋(容量6ℓ)に水を入れて、リュックにして背負う体験をしました。

この活動を通して水道をより身近に感じてもらい、水の大切さを知り、災害発生時に慌てず給水活動ができるよう啓発に努めています。



問(市)水道工務課

みつきいナビ

相談

健康

人権の目

暮らし

子育て

教室・講座

募集

催し

施設

問(市)水道業務課 営業係